

## 文化財修復検討部会について

1. 日 時 第1回 平成29年 6月1日(木)  
第2回 平成29年 9月28日(木)  
第3回 平成29年12月25日(月)
2. 委 員 田中部会長、伊東委員、北野委員、北原委員、千田委員、西形委員、  
長谷川委員、平井委員長、宮武委員、山尾委員、吉田委員、和田委員

### 3. 報告・審議事項

- (1) 石垣及び建造物の復旧手法について〔第2・3回〕
- (2) 天守閣復旧整備事業について〔第1・2・3回〕
- (3) 飯田丸五階櫓復旧事業について〔第1・2・3回〕
- (4) 重要文化財建造物復旧事業について〔第2・3回〕
- (5) 本丸御殿被害状況調査について〔第2回〕
- (6) 文化財修復検討部会の進め方について〔第3回〕
- (7) 熊本城復旧基本計画素案(概要)について〔第3回〕

### 4. 主な説明内容と意見

- (1) 石垣及び建造物の復旧手法について
  - 平成28年熊本地震による被災石垣復旧の原則について説明 (第2回)  
⇒ 了承(復旧基本計画へ反映)
  - 石垣の構造評価フローについて説明 (第2回)  
⇒ 了承(復旧基本計画へ反映)
  - ＜主な意見＞
    - ・ 検討評価基準なしという表現をすべきではない。
    - ・ 石垣補強と安全対策を並列に考えるべき。
  - 平成28年熊本地震による被災建造物復旧の原則について説明 (第3回)  
⇒ 了承(復旧基本計画へ反映)
- (2) 天守閣復旧整備事業について
  - ① 建築
    - 既存建築物の復旧方法について報告(第1回)  
(大天守6階ほか3箇所の部分やり替えについて)
    - ＜主な意見＞
      - ・ 大天守6階のやり替え等については、事前に報告してほしい。
    - 既存建築物の耐震補強方法について説明(第1回)  
(既存杭と遺構への地震力負担を軽減するための制震装置を採用する案)  
⇒ 了承(復旧基本計画へ反映)

- 小天守 4 階部分解体について説明 (第 3 回)

⇒ 了承

## ② 石垣

- 石垣解体範囲 (案) の基本的考え方について説明 (第 1 回)

### <主な意見>

- ・ 「安全確保」と「文化財的価値の高い石垣の保全」を両立出来る施工方法を再検討してほしい。
- ・ これまでの修復履歴や石材の状況等、解体範囲の合理性等を確認出来るようにしてほしい。
- ・ 復旧にあたりどの時代を目指すか明示すべき。

- 石垣解体範囲 (案) について説明 (第 2 回)

⇒ 大天守石垣の解体範囲については了承

⇒ 小天守石垣の解体範囲については、崩落石回収後の残存状況を確認した上で、解体ラインを上下するか判断

- 石垣構造解析について説明 (第 1 回)

### <主な意見>

- ・ 補強案について、文化財観点外からも広く検討すべき。
- ・ 地震により崩壊しなかった古い時代の石垣について、これを調査・評価して基準とすべき。
  - ⇒ 解析ではそこまでをモデル化して評価することは困難なことを説明。(その他の石垣含めた調査・評価方法については継続審議)
- ・ 文化財的価値を保全した範囲内の石垣補強により、必要な安全性が確保出来ない場合は、立ち入り制限等も検討する必要があるのではないかと。

⇒ 解析結果により検討していく (継続審議)。

- 天守地下 1 階穴蔵石垣の安全対策について説明 (第 3 回)

### <主な意見>

- ・ 文化財に配慮した安全対策案を再度検討してほしい。

⇒ 次回以降の部会にて提示予定 (継続審議)

## (3) 飯田丸五階櫓石垣復旧事業について

- 櫓解体と石垣養生方法について説明 (第 1・2・3 回)

### <主な意見>

- ・ 飯田丸五階櫓などしっかりと検証するということが、今後、全国のお城に対しても重要になると思う。⇒櫓解体は了承。
- ・ 石垣の倒壊防止対策を検討してほしい。
  - ⇒継続審議の上、第 3 回にて了承

- 石垣の解体範囲と構造解析について説明 (第 3 回)

### <主な意見>

- ・ 石垣の解体範囲について (特に明治時代の地震で崩壊していない範囲)
  - ⇒石垣解体工事着手については了承。
  - 解体範囲については調査状況等を確認しながら今後決定
- ・ 構造解析は、石垣の補強案が天守と同じでいいか等検討してほしい。
  - ⇒ 次回以降の部会にて提示予定 (継続審議)

(4) 重要文化財建造物復旧事業について

- 長堀復旧や重要文化財建造物下石垣の構造評価方法について説明 (第2回)

<主な意見>

- ・ 長堀やその石垣の健全性について検討してほしい。  
⇒ 次回以降の部会にて提示予定(継続審議)
- ・ 長堀の以前の姿についても調査してほしい。  
⇒ 狭間や石落としのある絵図面は存在するが、復原するための具体的資料はなく、部材に残る根拠も明確でないため、以前の姿にするのは難しいと判断している。

- 長堀復旧案や平櫓、監物櫓解体について説明 (第3回)

⇒ 平櫓、監物櫓解体については了承。長堀復旧については継続審議

<主な意見>

- ・ 長堀は遺構の状況をふまえて考えてほしい。

(5) 本丸御殿被害状況調査について

- 本丸御殿大広間の熊本地震による被害状況について説明 (第2回)

<主な意見>

- ・ 石垣等の変状が被害の要因であると考え。  
⇒次年度予定の石垣測量調査結果を基に、復旧方針を審議予定

(6) 文化財修復検討部会の進め方について

- 今後の部会の進め方(案)について説明 (第3回)

史跡・建造物両方に係る復旧方針及び取り合いに関する事以外については各専門分野の先生にメール含めて指導いただき、部会長報告、部会で報告・検討する方法を説明。 ⇒了承

(7) 熊本城復旧基本計画素案(概要)について

- 熊本城復旧基本計画素案(概要)について報告 (第3回)

<主な意見>

- ・ 大きな異論なし。
- ・ 復旧過程公開時に来城者に何を見せたいのか具体的に考えるべき。

青文字：回答内容・その後対応等